

■上半期の取り組みについて

水害に備える意識の高揚に関する検討

知恵・水害文化の収集結果・情報発信方法

■第3回担当者会議における協議事項

収集方法：水害体験者から当時の様子や地域の知恵などの聞き取り調査を行う。

発信方法：水害マップの作成・配布、ホームページでの公表、「水害体験を語る会」を開催する。

■上半期での実施概要

①知恵・水害文化の収集

- 平成19年度実施のアンケートより対象となる自治会を抽出
- 文献から収集した水害履歴等を圏域図へプロット
- (1)、(2)より調査自治会を選定
- 選定された自治会で聞き取り調査
- 郷土誌や被災時の写真は一時借用し、記録化後返却

②聞き取り調査実施地区

市町名	字名
近江八幡市	小田町、野村町、竹町、鷹飼町
竜王町	弓削、小口
安土町	下豊浦、常楽寺
東近江市	佐生町、栗見新田
日野町	佐久良、鳥居平

②聞き取り調査の整理項目

各地区における聞き取り情報

人々の暮らしと水害

- 水害後の生活の様子
- 先人の知恵
- 未来への備え

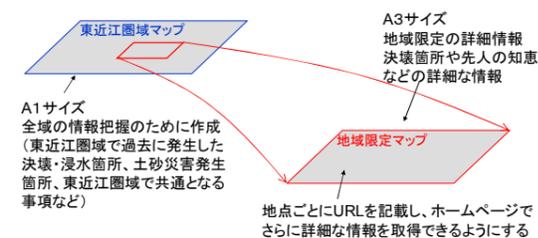
代表的な水害の記録

- 河川の水位上昇の状況
- 決壊の状況
- 浸水の状況

地区名	収集した情報
近江八幡市野村町	野村神社の南で床上浸水が発生した（S34年9月）
近江八幡市小田町	北風が吹くと日野川に水が溜まる 北里小学校まで舟で避難した（S34年9月）
近江八幡市竹町	大雨時は、地下の役員が日野川に見回りへ行く 「フチノセ」が決壊し、土砂が集落を襲い床上浸水、 田んぼは全滅した（大正6年10月） 堤外地の畑は歩けない状態であった（S34年9月）
竜王町弓削	奥ノ川原が冠水すると避難する目安にしている人達もいる 日野川、祖父川合流点の東側の広い範囲で内水被害が発生した

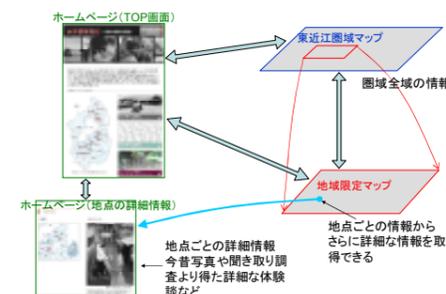
(1)マップの作成

東近江圏域の全域マップで情報を整理
各地区のマップで詳細情報を整理
配布方法（ハザードマップ等とあわせて配布）



(2)ホームページの公表

マップの電子情報、詳細な情報は滋賀県のホームページに掲載する。
また、市町のホームページからも参照できるようにリンクを貼る



(3)水害体験者による講話

- 地域の出前講座で水害体験者による講話
- 小学校出前講座で水害体験者による講話

→若年層への災害伝承

■今後の予定

- 各市町において、収集した集落が少なくとも4集落となるように継続して収集する。
- 土砂災害、避難生活の写真など不足している情報を収集する
- 情報収集の対象地域に偏りがあるため、聞き取りの対象範囲を広げる
- 各市町所有の水害誌などを参考に、聞き取り情報の裏づけをする
- 最終的な収集情報をマップ、ホームページで発信する

市町名	字名
近江八幡市	小田町、野村町、竹町、鷹飼町
竜王町	弓削、小口
安土町	下豊浦、常楽寺
東近江市	佐生町、栗見新田
日野町	佐久良、鳥居平

目標 2集落追加

出前講座の実施結果

■第3回担当者会議における協議事項

琵琶湖浸水、河川浸水、土砂災害を対象にそれぞれ1地区で出前講座を試行する。その結果や協議会での意見を踏まえ、説明資料の改善を行い、各市町の担当者が積極的に出前講座を実施できるようなマニュアルを作成する。

■上半期での実施概要

(1)地域での出前講座実施状況(河川浸水を対象)

場所	竜王町西横間集落センター (避難訓練後に開催)	近江八幡市小田町自治会館
日時	平成21年9月6日	平成21年10月10日
内容	日野川の河川改修 豪雨時の地域の浸水状況 水防活動や避難誘導	水害体験者による体験談(伊勢湾台風災害) 豪雨時の地域の浸水状況 水防活動や避難誘導
年齢層	30代以上、半数近くが60代	30代以上、半数近くが60代
災害経験	災害経験が少ない	災害経験が多い



(2)出前講座アンケート結果

アンケート項目	西横間			小田町		
	事前	事後	効果	事前	事後	効果
今後10年以内に被災すると思うか	78%	76%	→	46%	52%	↑
水害の備えた保険に入りたいか	81%	90%	↑	49%	65%	↑
水害対策は行政だけでなく個人・地域でも実施すべきか	94%	100%	↑	82%	83%	→
人命・家屋に大きな被害が出ないなら、浸水等を受忍しても良いか	27%	42%	↑	30%	35%	↑
行政のみの水害対策に限界があると思うか	90%	96%	↑	70%	80%	↑
水害対策は河川だけでなく流域一体で実施する必要があるか	99%	98%	→	91%	94%	→
行政を当てにせず、人命・財産は自分や地域で守るべきか	81%	92%	↑	60%	74%	↑

(3)出前講座に対する意見

良かった点

- 説明内容はまずまずわかりやすい
- 浸水状況(シミュレーション)は理解できた
- わかりやすい言葉で説明している

改善が必要な点

- スライドに絵や写真を増やしてほしい
- 災害の恐ろしさがわかるように、被災当時の写真をもっと加えてほしい
- スライドの印刷物があると理解が深まるのではないかと
- 浸水状況がわかりにくい

(4)次回への反映事項

- スライドに絵や写真を増やす
- 被災当時の写真をもっと加えて、洪水の恐ろしさを伝える
- 浸水状況をイメージしやすくするために、色の変化を工夫する
- 避難訓練後に開催することで多くの方にご参加いただいたことをマニュアルに記載する
- 地域の水害体験をお話いただくことで水害が身近に起こることであるという意識を持っていただいたことをマニュアルに記載する

■今後の予定

- 各市町において、1地区を対象に開催を目指す。
→土砂災害に関する講座の開催：日野町（1集落）
→琵琶湖浸水もしくは河川浸水に関する講座の開催：東近江市（1集落）、安土町（1集落）
- 次回以降への反映事項（上記(4)）を踏まえて、出前講座資料を修正・改善し、出前講座を実施する
- 各市町担当者用の出前講座マニュアルを作成する